

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 日時

平成30年10月29日（月）

2 確認箇所

G4南タンクエリア

3 確認項目

G4南タンクエリアにおけるフランジ型タンク解体工事の進捗状況

4 確認結果の概要

平成30年9月中旬に工事が着手されたG4南タンクエリアにおけるフランジ型タンク解体工事の進捗状況を確認した。

- ・G4南タンクエリアには、17基のフランジ型タンクが設置されていたが、エリア東側の3基のタンクの解体が終了していた。タンクの解体跡は、一部は、一日の作業終了時に解体作業中のタンク上部に設置する仮設天板の保管スペースとして使用されており、他の部分は、砕石及び鉄板が敷設されており、クレーンの足場等として使用されていた。（写真1）
- ・現場確認時には、4基目のタンクにおいて、解体作業に伴ってタンク内部から放射性物質が飛散することを防止するためにタンク内面を塗装する（先行塗装）作業が行われていた。（写真2）
- ・現場に掲示してあった作業開始前のタンク内部のダスト濃度及び作業中のタンク上部のダスト濃度の測定結果は、いずれも検出下限値未満（ $<1.02 \times 10^{-5}$ ～ $<1.05 \times 10^{-5}$ Bq/cm³）であり、作業管理基準値の 5×10^{-5} Bq/cm³を十分下回っていた。

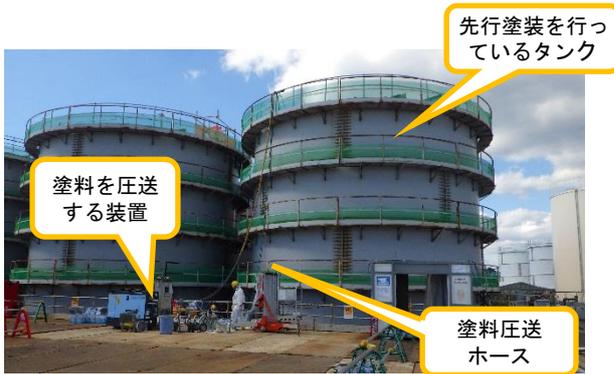


（写真1-1）

G4南タンクエリアの状況①
（南東側の高台から撮影、写真右側が東方向、奥側が北方向）



(写真1-2)
G4南タンクエリアの状況②
(東側から撮影)



(写真2)
先行塗装作業の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。